

滋賀県地震被害想定調査結果について

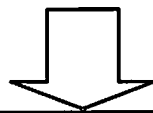
資料①

前回調査の概要

- 平成15・16年度（17年4月公表）
 - ・想定対象地震（地震発生の可能性とその影響が大きいものとして）
 - ①琵琶湖西岸断層帯(3ケース)、②花折断層帯、
 - ③東南海・南海地震
 - ・揺れ・液状化の分布推計
 - ・建物被害（全半壊棟数、火災発生件数）
 - ・人的被害（建物倒壊に伴う死傷者・避難者数）

今回調査の概要

- 平成24年度
 - ・想定対象地震（県域各地で起こりうる大地震として）
 - ①琵琶湖西岸断層帯、②花折断層帯、③木津川断層帯、
 - ④鈴鹿西縁断層帯、⑤柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯
 - ⑥南海トラフ巨大地震（各2ケース）
 - ・揺れ・液状化の分布推計
- 「滋賀県地震被害想定調査中間報告（震度分布等の推計結果）について」
<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/shobo/jishinbousai/20131010.html> 参照



- 平成25年度（今回公表）
 - ・建物被害（全半壊棟数、焼失棟数）
 - ・人的被害（死傷者・要救助者・避難者数）
 - ・ライフライン・交通機能支障（電気・水道・ガス・道路・鉄道等）
 - ・その他（通信・下水道・帰宅困難者等）
 - ・災害イメージ把握（上記被害・対応状況の経時的シナリオ作成）
 - ・大規模地震災害対応における課題抽出



今後：各種減災対策、応急対応体制の充実に向けて
地域防災計画・地震防災プログラム等の再検討

(参考)

県域の内陸活断層(帯)分布図



2012年 内閣府による南海トラフ巨大地震 (内閣府公表資料より抜粋)

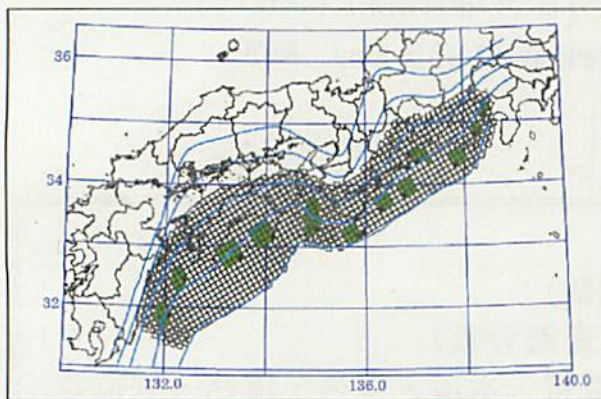


図3.3 強震動生成域の設定の検討ケース(基本ケース)

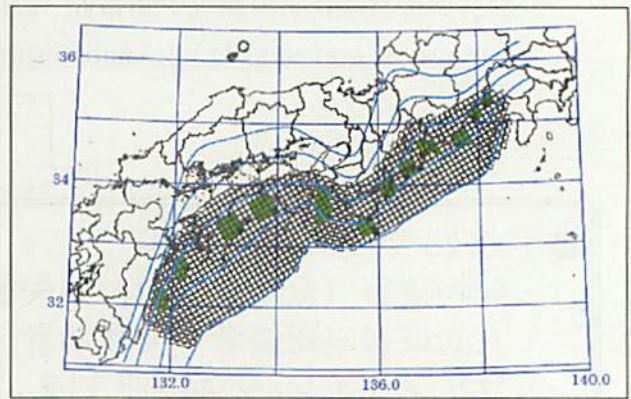


図3.6 強震動生成域の設定の検討ケース(陸側ケース)

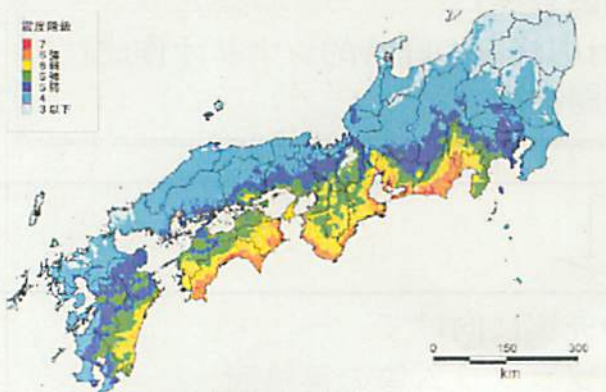


図5.1 基本ケースの震度分布

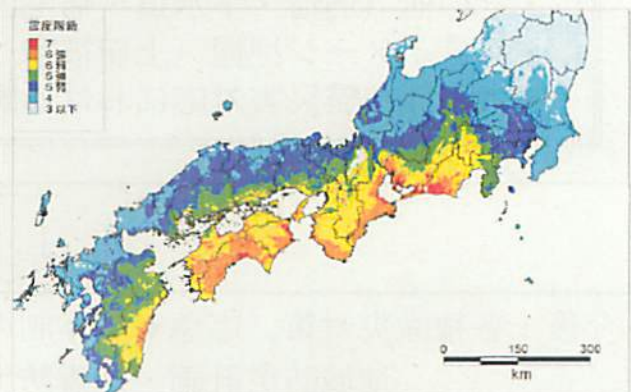


図5.4 陸側ケースの震度分布